

令和5年度 第4回 初生小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月8日（木）10時00分から12時00分まで
- 2 開催場所 初生小学校 調べ学習室
- 3 出席委員 上乘 菜穂子、金原 正人、大石 英典、猿田 金昭、山本 福次郎
関 美奈子、柴田 宏祐、山崎 晋司、辻村 拓磨
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 村松 健史（校長）、長坂 麻里子（教頭）、岩佐 好純（主幹）
田中 由紀子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 田中 由紀子
- 9 議長の選出

前回の協議会において、議長の選出について意見を求めたところ、金原委員から辻村委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 前回議事録確認

11 熟議

- (1) 学校関係者評価について
- (2) 来年度の学校基本方針
- (3) 学校運営協緒議会自己評価
- (4) 夢育やらまいか事業について
- (5) 金原委員より
- (6) 会長より

12 会議記録

司会の岩佐から、委員9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価について

議長の指示により、岩佐主幹から別紙資料に基づき報告があり、委員からは以下の発言があった。

- ・「6 自分から進んで挨拶・・・」誰に進んで挨拶をしているのか対象者を分析した方がよい。教員と子供たちの認識を統一するとよいのではないか。（上乘会長）
- ・挨拶は性格が反映されるので、「頭を下げるだけでも挨拶だよ。」と伝えてあげれば。（大石委員）
- ・登校時、声を掛けても以前はボソボソと言うだけだった子が、最近子供から元気良く挨拶をしてくれるようになって感動した。根気よく続けていけばよいと思う。（関委員）
- ・知らない人には挨拶しづらいと思うので、こちらから挨拶をすれば良いと思う。（猿田委員）
- ・地域の人から挨拶をされて返すのは良いけど、話し掛けられて返答が困るので嫌だという子もいた。（上乘会長）

- ・「12 いじめ・・・」教員が、自分としてはしっかり対応しているんだという気持ちを持ってもらいたい。「そう思う」が増えて欲しい。(大石委員)
- ・いじている側の保護者の家庭での対応も気になる。全部学校任せではいけない。(上乘会長)
- ・「11 安全な生活・・・」児童と教職員の回答の差が気になった。挨拶は、教員が子供たちにどこまで求めているのか意識統一をしたらどうか。(山崎委員)
- ・「9 やる前から・・・」児童の回答で、「よくできている」が少ないと思った。来年度以降も指導をお願いしたい。(辻村委員)
- ・具体的な目標設定をしてくれると子供たちは頑張れると思う。(上乘委員)
- ・回答が「よくできている」「だいたいできている」「あまりできていない」「できていない」となっているが「どちらともいえない」が多くなってしまっているので、あえて外しているのか。「だいたい」の捉え方が難しいと感じた。(大石委員)
- ・1年生のアンケートには例えのある項目もあって良いのでは。(上乘会長)

(2) 来年度の学校基本方針

議長の指示により、村松校長から別紙資料に基づき令和6年度初生小学校グランドデザイン(案)についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・PTA組織がもっと学校と関わりを持つことが大切だと思う。(山本委員)
- ・PTA会員は任意だが、保護者の生活形態も多様なので、出来るときに協力していただける組織作りを考えている。(辻村委員)

(3) 学校運営協議会自己評価

議長の指示により、岩佐主幹から事前に各委員からとりまとめた自己評価についての説明があった。各委員から積極的な意見が出され、グランドデザインを基にして、全員で熟議し理解できた。CS活動一年目で具体的な活動はできていないが、実現できそうな支援活動については話し合いを進めることができた。等の意見があがった。

(4) 夢育やらまいか事業について

議長の指示により、長坂教頭から別紙資料に基づき報償費についての報告があった。

(5) 金原委員より

議長の指示により、金原委員から以下の発言があった。

①教員からの学校支援アンケートについて

- ・学校にニーズを収集し、ボランティアの方にも学校の求めている事を説明することが大事。(山崎委員)

②ボランティア保険について

③情報発信用に各委員の役職確認

④コーディネーターを募集したい

- ・コーディネーターが1人では大変で、平日の昼間に活動できる人がいると良い。(山崎委員)

(6) 上乘会長より

議長の指示により、上乘会長より以下の発言があった。

- ・知人から夏休みに学習支援をしたいという話があったが、CSの活動範囲はどのようなところまでか。
- 教育課程を実行していくのが学校教育となっている。CSのバックアップは教育課程に沿っているもの（村松校長）
- ・先生方の要望を聞いて良かった。ただし、ボランティア募集は慎重に進めないといけない。（柴田委員）

協議の結果、全員異議なくこれらすべてを承認した。

13 その他連絡事項等

- ・司会から、次回会議は、令和6年4月23日（火）午前10時00分から調べ学習室で開催することが確認された。
- ・司会から、次回の議長の選出について委員に意見を求めたところ、上乘会長が議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。